

本間美術館で、僕の個展

武者小路実篤

酒田の (一)

今度僕の本間美術館で僕の個展をやる事に行

つた。此書は思ひもつた事だ。二か月前

が、人がこゝで個展をしたのが縁で、

同じく大福知に關係して、いる、今度藤野君に

勧めた。僕もその氣になつた。今度、僕

の個展を始める事はなつた。一文字も

今度僕が、こゝから出て書く事になつた。

僕が画を見る事は十九か二十年から好きに

なり。如きは西洋の新しい画に夢中になり、

僕の文学上の仕事の上にも、その影響をうけた

事は事實であるが、自分画にかけるとい

ふはまるでしなかつた。しかし四十位から画

にかいて見る氣になり、かき出した。やめ

た。なり。毎朝開かれば画をかき出すに

か。版を禁中して、間にもうと、画をか

く。かやめ、かたくな。言ふ通り毎日

かく事に熱中するよになつた。その画が僕の

10/10